

プログラム

第一部

- 1) M. マレー
- 2) M. I. von パラディス
- F. シューベルト
- 3) G. F. ヘンデル

スペインのフォリアの主題による変奏曲

シチリアーノ

6つのワルツ

組曲 第11番

アルマンド / クーラント / サラバンド / ジーグ

第二部

- 4) 日本古謡
- L. ブローウェル
- H. ビショッブ
- 5) G. ビゼー

さくら幻想曲

11月のある日

ホーム スウィート ホーム (植生の宿)

『アルルの女』 第2組曲

第1曲 バストラル

第2曲 間奏曲

第3曲 メヌエット

第4曲 ファランドール

プロフィール

パリ・エコール・ノルマル音楽院演奏家クラスを首席卒業。第1回日本ギターコンクール第1位入賞、第3回イタリア・ガルニアーノ国際ギターコンクール第1位入賞、第20回パリ国際ギターコンクール第2位入賞など数々の賞を受賞。

その後、ベルギーを拠点にヨーロッパで演奏活動を展開、高い評価を得る。

1998年、演奏活動の拠点を日本におく。高度なテクニックと研ぎ澄まされた感性、楽器の枠を超えたダイナミックで豊かな演奏は、聴衆に大きなインパクトを与え、各地で熱狂的なファンを獲得し続けている。また、ソロ活動の他にもチェンバロ、フルート、声楽など他楽器とも共演し、ギターのジャンルを超えて広く支持されている。

2000年以降、活動の場を再び海外にも広げ、アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、スペイン、ベルギー、モロッコ、チェコ、シンガポール、韓国及び台湾など世界各地で意欲的に演奏活動を行っている。

2003年、シンガポール日本文化交流の実績により感謝状を贈られ、2004年より台中市吉他協会の特別顧問として台湾ギター協会の発展に寄与する。

2012年、日本アジアギター教育協会の会長に就任し、アジアにおけるギター教育の発展に努める。2015年アメリカ、2016年は中国、2017年は4月アメリカ、8月中国でのコンサートを成功裏に終え、2018年にも更なる展開が期待されている。

前回2016年の感想 (一部)

・10弦ギター初めて聴かせていただきました。深い趣のある音色が心地良く感じました。超絶技巧にも感動しました。
・岩永さんの(演奏会での心構え)練習の延長で臨むのではなく、会場やそのときの感性を大事に演奏しているというお話を素晴らしいかったです。
・いきなり始まった曲に思わず引き込まれました。

・10弦ギターのパワーにびっくりでした。

・10弦ギターの難しさは判らないが音色のよさに引き込まれました。技巧の素晴らしさに感動。

・美しい指の動き、楽器と音と一体となり、その音は岩永さんの体から発せられているように見えました。

・音も指も気になりました。繊細な演奏にところが洗われました。